

# 会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第1回 新座市青少年問題協議会
開 催 日 時	平成30年8月6日（月） 午前10時から 午前11時25分まで
開 催 場 所	新座市役所本庁舎3階 301・302会議室
出 席 委 員	須田邦彦会長・牛山孝儀副会長・助川昇委員・辻実樹委員・ 木村俊彦委員・金子廣志委員・岡田雅人委員・斉藤宗夫委員・ 嶋野加代委員・長谷川栄委員・結城美千代委員・栗原貞一委員・ 鈴木松江委員 計13名
事 務 局 職 員	教 育 総 務 部 渡辺哲也部長 生涯学習スポーツ課 金子啓一副部長兼課長 小糸克己副課長兼スポーツ・青少年係長 藤田智美主任・天倉美希主事 向山千景主事・福田真帆主事補
会 議 内 容	別紙のとおり
会 議 資 料	1 次第資料 2 埼玉県青少年健全育成・支援プラン（概要版） 3 新座市青少年問題協議会テーマ案について（回答様式） 4 新座市青少年問題協議会委員名簿 5 会長及び副会長の選出について（案）
公開・非公開の別	① 公開 2 一部公開 3 非公開 （傍聴者 0人）
そ の 他 の 項 必 要 事 項	欠席委員 佐藤重忠委員・宮敦子委員・右田勉委員・田野信哉委員・ 西川達男委員・宇原悦子委員 計6名

審 議 の 内 容 （審議経過、結論等）	
1	開 会（司会：事務局）
2	<p>挨拶（須田前副会長、岡田新座警察署生活安全課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委嘱状の机上交付</li> <li>・ 委員の紹介</li> </ul>
3	議 題
(1)	<p>会長・副会長の選出について 事務局から説明を行う。 意見が出なかったため、事務局案を提出。 ⇒異議なし。 会長に須田邦彦氏が、副会長に牛山孝儀氏が承認される。 以降の進行については須田会長が行う。</p>
(2)	意見具申テーマについて
発 言 者	内 容
事 務 局	資料について説明。
会 長	教育委員会の全体的なことについてお話しいただきたい。
委 員	<p>平成18年度からのテーマを見ると、一貫して、青少年が受身の態勢であると言える。大人が子どもに何を与えるか、どんな環境を整備してあげるか、どう守っていくかという観点から考えたテーマのように思う。今回の方針もそれで良いのか、検討する必要がある。青少年が自立をする、という観点でテーマを考えることも一つの策だと思う。先ほど事務局からも説明があったが、今年度から、市内全校をコミュニティスクールに指定した。須田会長も、委員の中にもコミュニティスクールの委員になっている方もいると思う。これまで学校は、校長を中心に教職員が全ての計画を立て、教育委員会等の方針を受けて学校運営をしてきた。コミュニティスクールは、学校運営協議会を設置し、地域の方に委員になっていただき、その意見を学校運営に反映できるというシステムである。平成25年度に野火止小学校をコミュニティスクール第1号として指定した。その後陣屋小学校、新座中学校に拡大し、平成29年度には、第五中学校、八石小学校、野寺小学校、栗原小学校の第五中学校区の学校を指定した。本協議会を通じて、市内の青少年の活躍を共有できると良い。私たちが知らないところで子どもたちは活躍している。昨年も、新座高等学校のダンス部が全国大会で優勝し、アメリカ大会で3位という成績を収めた。今年も関東大会で優勝し、全国大会に出場するようである。</p> <p>青少年は、社会参加や社会との関わりが足りないように思う。昔の子どもは、家庭ではお風呂を焚くなどの役割があったが、便利な世の中になってそういった仕事も少なくなっているのだと思う。いろいろな関わりを持てるような環境づくりが必要である。大人がそのような環境を用意するのではなく、子どもが自分たちで自立し、模索しながら行動できると良い。例として、野火止用水クリーンキャンペーンは、もともと新座中学校の生徒会が十数年前に始めたものである。それが少しずつ広まり、現在では第二中学校及び第六中学校でも同じ日に実施している。クロネコヤマトなど、会社ぐるみで参加してくれる企業もあり、環境大臣賞をもらった。小さなボランティアがだんだん広がって、大きな動きになった良い例である。今後も支援をしていけると良い。</p>

会 長	<p>最近は、子どもたちが遊んでいるところをなかなか見かけなくなった。声をかけるのも、防犯パトロールの時くらいである。</p>
委 員	<p>私もコミュニティスクールの委員になっていて、第1回会議の際に、ネットワーク作りが重要だということでふれあい地域連絡協議会と連携することを提案した。ふれあい地域連絡協議会に協力を打診したが、すでに他の事業で手一杯であり、協力はできないと言われた。</p> <p>子ども会も町内会もそうだが、若い世代の保護者がサービスは受けても運営側に回ってくれないのが問題であると思う。</p> <p>「社会教育」は、20～30年前に「生涯学習」という言葉に変わった。社会について学ぶことを経験してこなかった世代が親となっていて、これまで社会の重要性を学んでこなかったのだと思う。これまでの具申内容も、生涯学習スポーツ課の事業も1つ1つを見ればすばらしいものだと思うが、それぞれのつながりがない。社会を学ぶという観点から、一度話し合うべきである。</p> <p>青少年の自立という話があったが、容易なものではない。子どもの権利という面からも検討が必要である。</p> <p>子ども会連合会では以前、学習の場を作ろうとしたが、活動場所までの行き帰りに責任が生じるため、保護者同伴にした。そうしたところ、参加者がとても少なかった。自由に来て自由に帰るということができず、ちょっとしたイベントも開けない。責任問題をどう捉えていくか、考えなくてはならない。</p>
委 員	<p>私は野火止小学校のコミュニティスクールの委員になっている。埼玉県で2番目のコミュニティスクールである。学校と地域の間にあった高い垣根が取り払われたと思う。「家庭の学びで芽を出し、学校の学びで花が咲き、地域の力で実らせよう」という姿勢で事業に取り組んでいる。</p> <p>各町内会では、特色あるイベントを実施している。高齢化が進んでいるので、地域のお年寄りの力を子どもたちに伝えられたらと思っている。</p> <p>夏休みの最後の土曜日あたりに、夏休みの宿題がらみで、中高生も交えて木工や工作などをしようと思っている。</p> <p>私の町内会には、若い世代が引っ越してくることが多い。入ったばかりの時に声をかけると反応が良い。お祭りやバスツアーなどに誘うと皆参加してくれる。あちらから来るのを待つのではなく、こちらから働きかける時期だと思う。今後もチャレンジしていきたい。</p>
会 長	<p>計画に終わらず、実際に実施しているのがすばらしいと思う。他の地域でもそのようにできると良い。</p>
委 員	<p>最初から大掛かりなことをするのではなく、参加者の反応をみながら少しずつやっていけると良い。</p>
委 員	<p>私には小学生、中学生の子どもがいる。資料に書かれていることを身をもって感じている。</p> <p>最近、親であっても子どもが何を考え、何をしているのか把握するのが難しい。特にインターネットの世界については危惧している。LINEは、1日に300件ほどのメッセージが入ることがあり、それに付き合わないといけないような友達関係も考えものである。</p> <p>ボール遊びができる公園なども少なくなってきており、どうしても家でゲームをすることが多い。</p> <p>私はPTAや子ども会にも関わっているが、親の参加が少ない。子どもは習い事で忙しいし、親はその送迎をしなくてはならない。仕事もあり、どうしてもその他の活動は大変だという印象もあり、参加しないの</p>

	<p>だと思う。いろいろな事業の中身はとても大事なことで、きっかけがあれば、盛り上がる要素はあると思う。</p>
委員	<p>世代間の隔絶が大きい。近所にごみ出し1つ頼める人がいない。子どもと高齢者がつながらないだけでなく、子ども同士も異年齢間のつながりが無い。親や同級生には話せないが、他の学年の人になら相談できることもあると思う。</p> <p>子どもが関わる大人と言え、親と学校の先生くらいである。それ以外の付き合いを地域でどうやって作れるかを検討したい。</p> <p>新座市には、共に暮らすための新座市障がい者基本条例がある。障がい者や高齢者との付き合いは、年に数回のボランティアだけでは学べないと思う。学校教育プランではそのようなことが踏まえているのかは分からない。</p> <p>防災の問題をとっても、昼間、地域にいるのは高齢者がほとんどなので、若い中学生などが役割を担ってくれると良い。</p> <p>町内会も、高齢化の影響で思ったように活動できない地域もある。中学生が発案し、主体的に進められるようなシステムがあると良い。</p>
委員	<p>テーマの範囲が広く感じる。意見具申テーマを見ると、環境を整える、子どもを守るという面は実現してきているように思う。</p> <p>先日、朝霞青年会議所で、子どもを対象にいろいろな職業体験ができるイベントが実施された。60名～100名程度の定員がすぐに埋まったそうである。子どもにとっては責任問題は関係なく、あくまでも自己意識で参加していた。学んで楽しめて、大人と関わることができ、夢を叶えるためのステップとして体験してみるというものだった。このような事業を市が主体となってでできたらおもしろい。</p> <p>環境を整える、子どもを守る、自立につなげる、という3つの観点に絞って会議を進めるのが良いと思う。</p>
委員	<p>「社会教育」がなくなって「生涯学習」になったという話があった。本来であれば、生涯学習は自ら選んで学ぶという姿勢で取り組むべきだが、主催側もそれができていないということを改めて認識した。</p> <p>青少年の自立を促すようなテーマは良いと思う。具体的な策はすぐには出てこないが、先ほど話に出た朝霞青年会議所の事例を新座でも規模を大きくして1～2年かけてやっていくなども良いのではないかな。</p> <p>子ども自身が考えて行動してほしいが、その機会は大人が作らないといけないのではないかなと思う。</p>
委員	<p>私は以前議員をしており、本協議会への参加はこれで2回目である。前回の参加から10年以上経ったが、具申の経緯などは覚えている。以前、各中学校区で子育てを見守ろうということで、ふれあい地域連絡協議会を立ち上げたが、当時はとても画期的な仕組みだと思った。こういった取組みが浸透してきて、青少年施策の発展につながると期待してきたが、協議会単位で地域差や温度差があると思う。協力を依頼しても断られたと聞き、残念に思う。本協議会では、これまでにいろいろなことを提案し、体制作りをしてきたが、事業の実施に追われて本来の趣旨とずれてきている部分もあるように思う。もう一度検討し直し、磨きかけたほうが良い。教育委員会としてはコミュニティスクールに重点を置いているようだが、今までの取組みが有効に機能しているのか検証するのも1つの策だと思う。</p> <p>インターネット関係の問題は、以前は考えてもみなかったことである。インターネットの面での健全育成が何かを協議する必要があるのではないかなと思う。</p>

委 員	<p>青少年育成推進委員会では、市内量販店等でパトロールを行っている。以前は、夕方に店の駐車場で子どもが花火をしているなどのクレームがあったが、最近では子どもが遊んでいるところ自体を見かけない。お店に聞いても、問題はないと言われる。</p> <p>夏休みになると、公民館で宿題をしたり遊んだりする姿を見かけた。皆携帯電話を持っているようである。</p> <p>イベントを開催しても、申込みが少ない。保護者に聞いてみたところ、子どもがあまり興味を持たないようである。また、参加が面倒であると感じたり、習い事で忙しいなどの事情があるようである。イベントは継続的に開催して、若い保護者を巻き込んでいけると良い。親の意識改革ができれば、と思う。</p>
委 員	<p>本協議会には初めて参加した。私が携わる仕事は、事件を起こした青少年がペナルティを受けて、更正するところまでに関係するものである。</p> <p>本来は、犯罪を犯してはいけないというのを普段の生活のどこかで学ぶべきなのだと思う。悪い結果にならないように事前に教育したり、大人が健全な方向に導いてあげなくてはならないと思う。</p>
会 長	<p>いじめなども、気づいてあげられないこともある。教育関係者が策を考えているとは思いますが。</p> <p>本日話し合ったことをもとに、テーマ案についてじっくり考えてもらえればと思う。</p>

- (3) 今後のスケジュールについて  
資料により説明を行う。  
⇒承認。

(4) その他

**事務局** 本日協議いただいたことを参考に、各自テーマを考え、配布した「新座市青少年問題協議会テーマ案について（回答様式）」に記入し、9月14日（金）までに事務局に提出をお願いする。提出された案をまとめ、次回会議で資料として提出する。

**質 問** プレイパークに関連して、道場と野火止五丁目に新しく公園ができると思うが、何か把握していることはあるか。

**事務局** もともと片山ファミリープールがあったところに公園施設を作るという計画となっているが、8月から先行してじゃぶじゃぶ池の利用が開始された。平成32年度に完成予定である。葉っぱなどの自然や小山で遊ぶことができ、地域の高齢者なども木陰で休めるような施設となる。

**事務局** 本協議会は公開の会議であり、市ホームページにも会議録を掲載している。出席者・欠席者の名前は出すが、誰がどんな発言をしたかは分からないよう、配慮する。

**質 問** 過去の会議録を検索したが、平成27年度以降のものが見つからなかった。

**事務局** 平成27年度以降のものは、現在修正中である。修正後、公開する。

4 閉 会（牛山副会長）